

開催要項

1. 大会主旨 ティーボールのゲームを通じて未来を担う児童の健全な育成を図るとともに、野球人口の拡大、交流を目的に毎年シーズンオフに開催する。
2. 主 催 一般財団法人 五所川原市体育協会
3. 共 催 五所川原野球協会
4. 後 援 青森キッズTボール協会
5. 会 場 『つがる克雪ドーム』
6. 開 催 日 平成30年2月24日（土）～25日（日）
7. 参加チーム 西北五地区の小学校又は五所川原野球協会が推薦する18チーム以内
8. 大会参加料 1チーム7千円（試合当日納入）
9. 開 閉 会 式 開会式は行いません。各チームは試合時間にあわせ余裕を持って集合すること。
閉会式は25日（日） 準決勝進出の4チームにより行う。
10. 大会規則 別紙のとおり
11. 表 彰 優勝・準優勝・第三位チームを表彰する。
12. 監督会議 平成30年2月24日（土）
つがる克雪ドーム内大会本部
A・B・C・Dブロック 8時から
E・Fブロック 12時から

大会規則

1. 試合方法

1) 予選

- ・予選はリーグ戦とし、1試合45分または**6回**裏まで行う。(最終回、後攻めの得点が多い場合でも後攻めの攻撃を行う)
- ・規定回数、規定時間終了時点で引き分けの場合は、引き分けで終了する。
- ・勝ち点と同点の場合は得失点差とし、得失点差が同点の場合は総得点で順位を決する。

2) 決勝トーナメント

- ・決勝トーナメントは、各リーグの1位チームと敗者復活2チームの合計8チームによるトーナメント方式とし、1試合60分または7回戦とする。
- ・同点の場合は1イニング延長戦を行い、それでも決着がつかない場合は最終回に出場した選手9人で抽選を行う。

3) その他

- ・試合中のトラブルは当該試合の審判で協議して決定する。
- ・予選リーグは、試合を行わないチームに塁審(3人)をお願いする。
(別紙「出場チーム・タイムスケジュール表」のとおり)
- ・メンバー表の交換は行わない。
- ・試合後のグラウンド整備にご協力ください。

2. 組み合わせ

主催者が責任抽選する。

3. チーム編成

平成29年4月の時点で小学校4年生以下の女子児童及び小学校3年生以下の男子児童で編成し、1チーム10名以上とする。単独チームで10人に満たない場合は他チームとの合同でも可とする。

ベンチ入りは、登録した監督1名、コーチ2名、選手、コーチャーを父兄が行う場合は2名までとする。

※各チームから審判員を3名選出すること。

4. 注意事項

- ・選手、応援者のケガや事故については、各チームで責任を持って対処すること。また、各チームは事前に保険の加入を確認すること。
- ・グラウンド内は禁煙です。喫煙は所定の場所で行ってください。
- ・**打者・走者のヘルメット着用を義務付ける。**

【ティーボール ルール】

1. 競技場

- ・競技場は、その状況に応じて特別ルールを作ることができる。
- ・バッティングティーは、ホームプレートの後方50cm以上1m以内に置く。
- ・バッターズサークルは、ホームプレートの角を中心にして半径3mのサークルを描く。

2. 用具

1) バット

- ・少年軟式用又は硬式用を使用する。

2) ボール

- ・軟式C級を使用する。

3) シューズ

- ・樹脂スタッド（スパイク又はシューズ）を着用することができる。
- ・金属製スパイクの使用は禁止する。

4) 服装

- ・プレーに支障のない服装とする（ユニフォーム又はジャージ）。
- ・同一チームのプレーヤーは、同一のユニフォームを着用しても良い。
- ・試合中は番号のついたビブスを着用する。

5) 危険物の着用禁止

- ・プレーヤーは、危険防止のため腕時計などの装具品を付けてはならない。

6) ヘルメット

- ・少年軟式用又は硬式用を基本とするがその他でも可とする。

3. プレーヤー

1) 守備位置

- ・本塁手以外の各守備者は、打者が攻撃をする時はフェア地域内にいなければならない。
- ・本塁手は、打者が打撃を完了するまではバッターズサークル外にいなければならない。

2) プレーヤーの交代

- ・登録されているプレーヤーは、1試合の間に、1打者以上の守備、1打席以上の打席、1度以上の走塁のいずれかで出場すること。
- ・プレーヤーの交代は、監督が球審に申し出た時に成立する。
- ・交代した選手の再出場は認める。

4. 試合

1) 攻撃と守備

- ・3アウトまたは9人一巡で攻守交代とする。
- ・9人目の打者の時はそれまでのアウトカウントに関係なく2アウトとする。

2) 試合の進行と停止

- ・ 打者の打撃が完了し守備側のプレーヤーが本塁手にボールを戻し、本塁手がポージング（ボールを持って上に上げる）した状態でボールデットとする。

また、本塁手にボールを戻す前であっても、投手又は野手がダイヤモンド内でボールを持ち、打者及び走者の進塁が一段落したと球審が判断した場合もボールデットとする。

（進塁が一段落した後の野手と走者の牽制やボールデット時の走者の帰塁などによる無駄な時間を削減し通常の野球に近づけることを目的として今大会から実施する。）

- ・ 試合の再開は球審のプレイ宣告による。
- ・ 選手、監督はタイムを要求することができる。

5. 打者

1) 打者の義務

- ・ 打者は、バッターズサークル内に位置し、バッティングティーの高さを調節した後、打撃準備姿勢をとらなければならない。
- ・ 打者は、ピッチャーが投球アクションをした直後でなければ打撃することができない。
- ・ 打者は、球審のプレイ（ボール）宣告から10秒以内に打撃しなければならない。これに違反した場合はストライクが宣告される。
- ・ 打者は、軸足を2歩以上動かして打撃してはならない。これに違反した場合はストライクが宣告される。

2) 打撃順

- ・ 各回（イニング）の先頭打者は、前回の最後に打撃を完了した打者の次の打順のプレーヤーである。

3) 打撃順間違いの対応

- ・ 打撃中に打撃順の間違いを指摘された場合は、間違えた打者によって生じた全てのプレイを無効とし、ボールカウントを引き継いで正規の打撃順の打者に交代する。

6. ストライク

1) 次の場合は球審はストライクを宣告する。

- ①空振りした時。
- ②ファウルボールとなった時。
- ③打者がバントやプッシュバントを試みたと球審が判断した時。

7. フェアボール・ファウルボール

- ・ 公認野球規則によるほか、バッターズサークル内にある打球はファウルボールとする。ただし、フェア地域内にあるバッターズサークルライン上はフェア地域に含む。

8. 打者がアウトになるとき

1) 次の場合、打者はアウトになる。

- ①2ストライク後に空振りした時。

- ② 2ストライク後に打球がファウルになった時。
- ③ 2ストライク後にバントやプッシュバントを試みたと球審が判断した時。

9. 走塁

- ・盗塁は禁止とする。
- ・離塁は、打者がボールを打ってからとする。離塁が明らかに早い場合は、ランナーを戻して打ち直しとする。

10. その他の事項

- ・大会ルール、野球規則以外の不足のプレーに関しては対戦チーム同士で協議の上、判定を決定することができる。
- ・試合中は監督またはコーチがマウンドの投手の位置まで行くことができる。この場合、バッテリーと野手を集めて指示を与えることができる。
- ・審判員に対する申し出、規則上の異議の申し入れは、監督・主将または当事者に限り行うことができる。
- ・コーチャーは父兄でも可とする。攻守交代時は守備位置に着くための補助をできるが、プレー前にはコーチャーボックス内に戻ることに。

11. 敗者復活

- ・決勝トーナメントに敗者復活枠を2枠設ける。
 - ① 予選リーグ戦第7位のチーム
予選リーグ戦敗退チームの中から得失点が一番多いチームとし、同点の場合は総得点の多いチームとする。それでも決着がつかない場合は抽選とする。
 - ② アトラクション第1位のチーム
アトラクションの合計ポイントが一番多いチームとし、同点の場合は抽選とする。ただし、当該チームが予選リーグ戦において決勝トーナメント進出を決めた場合、又は、予選リーグの敗者復活に該当した場合は順次繰り下げとする。
- ※敗者復活2枠とも同一チームになった場合は①を優先する。

【アトラクション】

- ・ベースランニング競争の参加人数は試合ごとに両チームの話し合いで決める。
優勝10ポイント、準優勝5ポイント。
- ・ストラックアウトはチームの人数に係らず1回12球（1ダース）とし、2回の合計で競う。抜いた番号がそのままポイントになる。

※園児のアトラクションへの参加はチームの責任者へ一任する。